



2006年3月期<第134期> 中間決算説明会

2005年11月25日



世界の歯科医療に貢献する

株式会社 松風

本日のご説明内容

- ➔ 2006年3月期 中間業績の概要
- ➔ 2006年3月期 通期業績見通し
- ➔ 今後の事業環境及び中長期戦略

取締役社長	太田 勝也
常務取締役 (管理本部長)	白波瀬 文雄
取締役 (研究開発部長)	根來 紀行

会社の概要

- 会社名 株式会社 松風 (SHOFU Inc.)
- 代表者 取締役社長 太田 勝也
- 所在地 京都市東山区福稲上高松町11番地
- 設 立 大正11年(1922)5月15日
- 資本金 4,474,646,614円
- 上場証券取引所 大阪証券取引所(市場第二部)
- 従業員数 421名(グループ:612名)
- 事業内容 歯科器材の製造販売
- 主要販売先 歯科医療機関(歯科医院・病院・歯科技工所)
(代理店経由)
- グループ会社 9社(国内3社、海外6社)

主要取り扱い製品

歯科医療・歯科技工に使用される材料・機器
全般の製造販売
別添「製品プロフィール」をご参照ください

人工歯類



- 陶歯・陶材・レジン歯

研削材類



- ダイヤモンド研削材
- カーボランダム研削材
- シリコン研磨材
- その他切削・研磨材
- 工業用研削材類

金属類



- 鋳造用金合金・銀合金
- その他金属

化工品類



- 合成樹脂製品
- 印象材
- ワックス製品

セメント類他



- 歯科用セメント
- 石膏・埋没材製品

機械器具類その他



- 歯科用機器
- オーラルケア・感染予防製品
- 矯正材料
- 美容・健康器具
- その他

⇒ トピックス

中国での販売会社設立

- 商 号 松風歯科器材(上海)有限公司
SHOFU Dental Supplies (Shanghai) Co.,Ltd.
- 設立年月日 2005年8月29日(営業開始:2006年1月予定)
- 所在地 上海市松江区佘 山工業区
- 代表者 董事長 関 敏明(当社 常務取締役)
- 資本金 100万USDドル
- 株主構成 当社 100%
- 事業内容 中国国内向け
歯科材料、歯科用機器の販売
- 従業員数 約30名
- 初年度売上高 約5億円



顧客向け研修センターの建設に着工

- 目的 歯科診療、歯科技工、歯科予防衛生に関する研修
- 対象 歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士
- 所在地 京都本社工場内
- 完成予定 2006年8月
- 総工費 約6億円
- 施設概要 地上4階、地下1階
延床面積約1,910㎡
診療研修室、技工研修室、
各専用機器・設備
講演会用ホール他
- 期待される効果
歯科医療レベルの向上と当社製品の特性を知っていただくこと
による販売促進効果





⇒ 2006年3月期 中間業績の概要

⇒ 2006年3月期 通期業績見通し

⇒ 今後の事業環境及び中長期戦略

中間業績概要

■ プラス要因 ■ マイナス要因

P/L

- 新製品は順調に発売 < 新製品売上高: 832百万円 >
- 国内市場における販売競争の厳しさは継続するものの、新製品効果から、国内売上高は2.1%増収
- ■ 海外売上高は、中国向け在庫調整、ドイツ医療制度改革によるマイナス影響はあったものの、米国の回復基調が見られ、台湾・韓国向けも堅調に推移、全体としては4.0%増収
- 売上高は7,238百万円(2.5%増収)(3期ぶりの増収)
- セールスマックスの好転、コストダウン効果などから原価率は0.6ポイント低減、営業利益は713百万円(17.0%増益)

B/S

- 株価の上昇により有価証券評価差額金は増加

C/F

- 税金等調整前当期純利益<793百万円>、売上債権の減少<200百万円>などから、営業キャッシュフローは増加(前中間期 354百万円 701百万円)

当中間期業績の概要<前中間期対比>

単位:百万円、%

	2005/3期 (中間期)	2006/3期 (中間期)	前中間期対比
	金額 (対売上率)	金額 (対売上率)	金額 (率)
売 上 高	7,063 (100.0)	7,238 (100.0)	174 (2.5)
(国内売上高)	5,520 (78.2)	5,634 (77.8)	113 (2.1)
(海外売上高)	1,542 (21.8)	1,604 (22.2)	61 (4.0)
営 業 利 益	609 (8.6)	713 (9.9)	103 (17.0)
経 常 利 益	652 (9.2)	797 (11.0)	145 (22.3)
当 期 純 利 益	386 (5.5)	488 (6.7)	101 (26.2)
1株当たり当期純利益	24.51円	30.73円	
株主資本利益率	2.26%	2.68%	

製品分類別売上高<前中間期対比>

金額単位:百万円
()内は構成比率、増減率、単位%

	2005/3期 (中間期)	2006/3期 (中間期)	前中間期対比
人工歯類	1,396 (19.8)	1,343 (18.6)	53 (3.8)
研削材類	1,736 (24.6)	1,812 (25.0)	76 (4.4)
金属類	237 (3.4)	232 (3.2)	5 (2.4)
化工品類	1,329 (18.8)	1,365 (18.9)	36 (2.7)
セメント類他	678 (9.6)	721 (10.0)	43 (6.3)
機械器具類その他	1,684 (23.8)	1,762 (24.3)	77 (4.6)
合計	7,063 (100.0)	7,238 (100.0)	174 (2.5)

当中間期業績の概要<中間期予想対比>

単位:百万円、%

	2006/3期 (中間期予想)	2006/3期 (中間期実績)	予想対比
	金額 (対売上率)	金額 (対売上率)	金額 (率)
売上高	7,267 (100.0)	7,238 (100.0)	28 (0.4)
(国内売上高)	5,585 (76.9)	5,634 (77.8)	48 (0.9)
(海外売上高)	1,681 (23.1)	1,604 (22.2)	77 (4.6)
営業利益	636 (8.8)	713 (9.9)	76 (12.0)
経常利益	632 (8.7)	797 (11.0)	164 (26.0)
当期純利益	368 (5.1)	488 (6.7)	120 (32.7)
1株当たり当期純利益	20.76円	30.73円	
株主資本利益率	-	2.68%	

製品分類別売上高<中間期予想対比>

金額単位:百万円
()内は構成比率、増減率、単位%

	2006/3期 (中間期予想)	2006/3期 (中間期実績)	予想対比
人工歯類	1,422 (19.6)	1,343 (18.6)	79 (5.6)
研削材類	1,757 (24.2)	1,812 (25.0)	55 (3.1)
金属類	232 (3.2)	232 (3.2)	0 (0.1)
化工品類	1,369 (18.8)	1,365 (18.9)	4 (0.3)
セメント類他	767 (10.6)	721 (10.0)	45 (6.0)
機械器具類その他	1,716 (23.6)	1,762 (24.3)	45 (2.6)
合計	7,267 (100.0)	7,238 (100.0)	28 (0.4)

国内売上高

■ プラス要因 ■ マイナス要因

□ 既存品 (-)

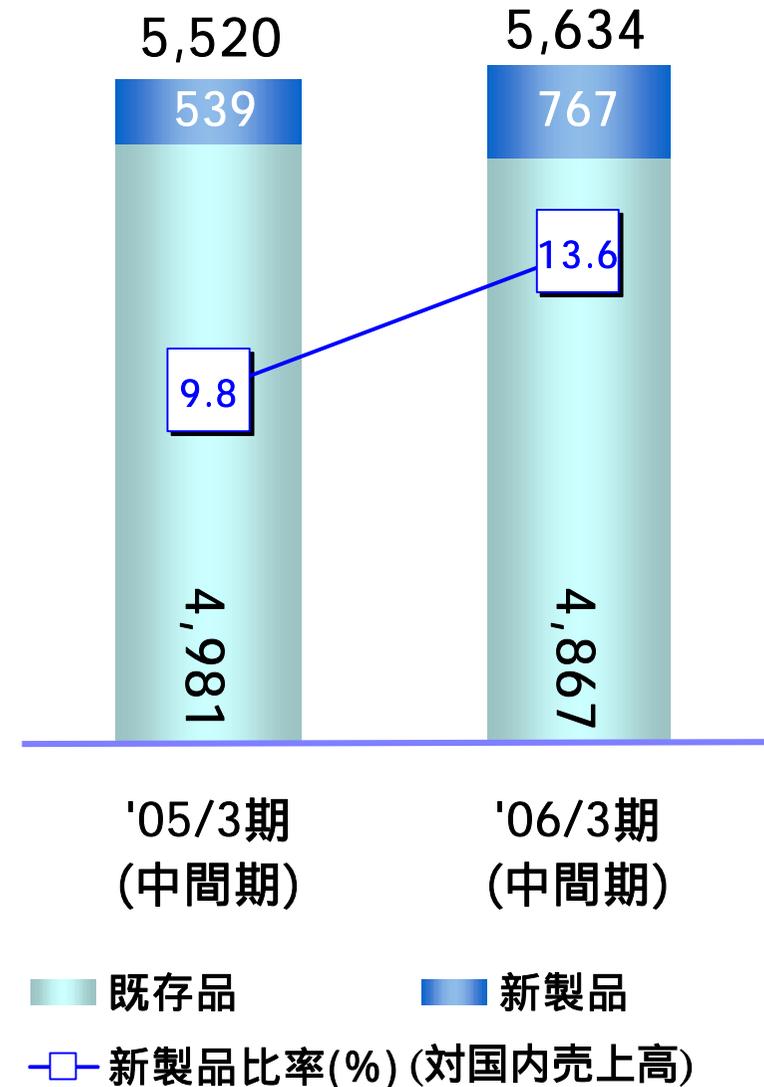
■ 歯科医療費は僅かながら増加に転じ、医療費3割負担の影響も弱まりつつあるなど、多少明るい兆し

■ しかし、販売競争は依然として厳しく、人工歯類、機械器具類(レーザー機器など)は減収

■ 新製品は順調に発売(+)

- グラスアイオノマー系レジンセメント
「ハイボンドレジグラス」70百万円
- 歯科用自動鑄造機
「アルゴンキャスターAE」96百万円
- 前臼歯対応歯冠用硬質レジン
「セラマージュ」74百万円
- 歯科用デジタルカメラ
「アイススペシャル」115百万円

金額単位:百万円



グラフ中の「新製品」は、最近3年間の発売品であります。

海外売上高

■ プラス要因 ■ マイナス要因

■ 北米・中南米

- 主力の研削材を中心に回復
- 現地通貨ベース 14.0%増収

■ 欧州

- ドイツ医療保険制度改革の影響から全体としてほぼ横這い

□ アジア・オセアニア

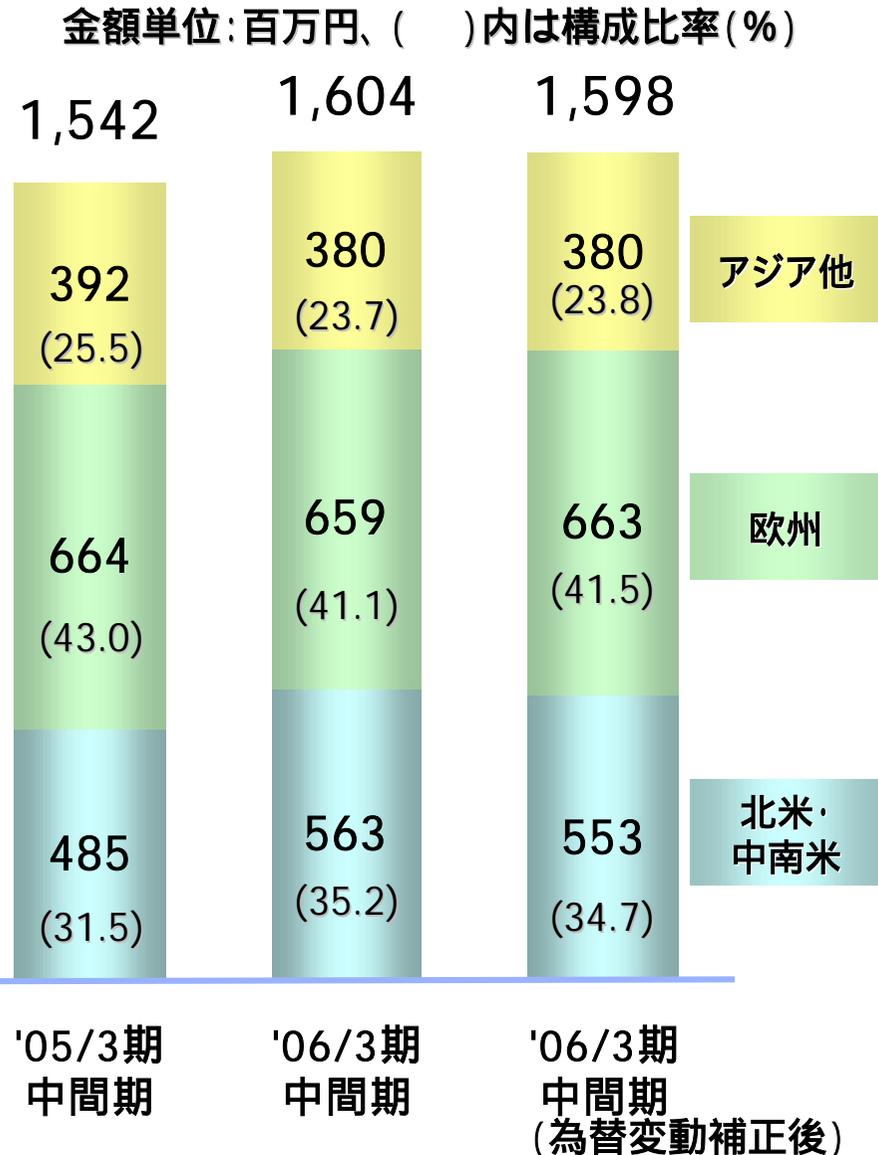
- 中国 前中間期比 60百万円
- 韓国・台湾 前中間期比 + 40百万円

□ 為替レート

- 米ドル 113.19円(前中間期 111.05円)
- ユーロ 136.13円(前中間期 137.04円)

■ 海外売上高比率

- 22.2%(前中間期 21.8%)
(為替変動補正後 22.1%)



営業利益の変動要因

単位:百万円



() 当中間期に設立いたしました販売会社 松風歯科器材(上海)有限公司は、当中間期より連結子会社としておりますが、営業利益への影響はありません。

財政状態～貸借対照表主要科目

金額単位:百万円

	'05/3期	'06/3期 中間期	対比	主な変動要因・特記事項
現金預金	5,254	5,765	511	評価差額増加 662百万円 1年以内償還債券 599百万円 有価証券へ 有価証券(1年以内償還債券)増加 478百万円
受取手形・売掛金	2,963	2,766	196	
棚卸資産	2,982	3,011	28	
投資有価証券	5,513	5,667	154	
その他	5,303	5,964	661	
資 産	22,016	23,175	1,158	
長期・短期借入金	1,045	1,040	5	有価証券評価差額金増加による 繰延税金負債増加 356百万円
退職引当金	573	481	92	
その他	2,516	3,053	537	
負 債	4,135	4,575	439	
株主資本	17,881	18,600	719	有価証券評価差額増加 391百万円
負債・資本合計	22,016	23,175	1,158	
株主資本比率	81.2%	80.3%		
1株当たり株主資本	1,122円	1,171円		

キャッシュ・フロー

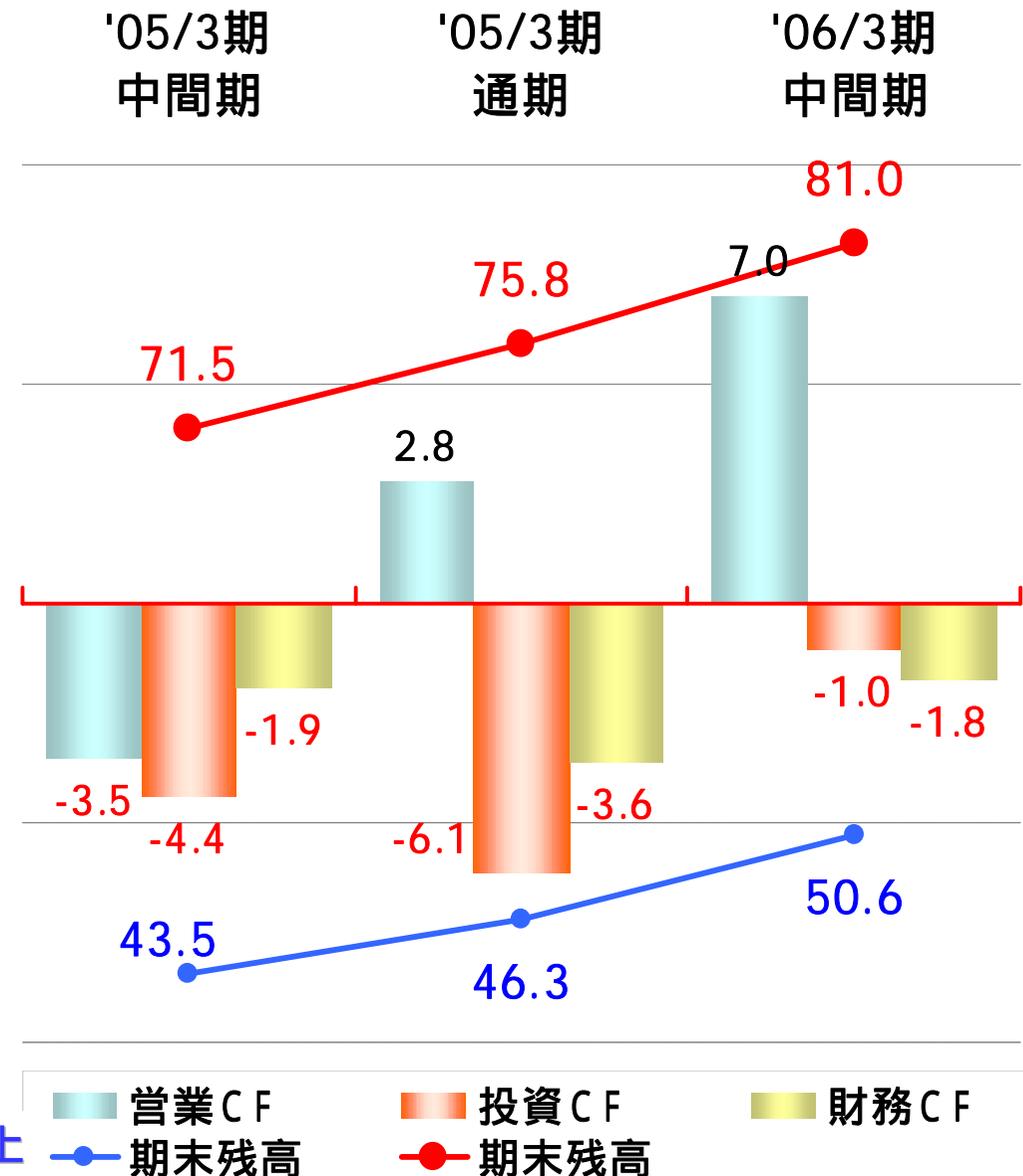
単位: 億円

□ 当中間期の主な内容

- 営業CF
税金等調整前当期純利益
793百万円
- 投資CF
有形固定資産取得 127百万円
- 財務CF
配当金 158百万円

□ 3ヵ月超の預金・債券含む 資金残高(グラフ期末残高)

- '05/3期中間期 71.5億円
- '05/3期 75.8億円
- '06/3期中間期 81.0億円



*「期末残高」は、連結キャッシュ・フロー計算書上の「現金及び現金同等物」残高であります。



⇒ 2006年3月期 中間業績の概要

⇒ 2006年3月期 通期業績見通し

⇒ 今後の事業環境及び中長期戦略

通期業績見通しの概要

P/L

- 弾力的・効率的な販売政策により既存品を維持し、新製品を上乗せし、売上拡大を目指す。
- 売上高は14,509百万円(2.0%増収) (当初予想通り)
- 上期と比較した下期見通しは、研究開発費、販売費の増加から減益
- 通期(前期比較)では売上高の増加、海外収益の好転から、研究開発費、営業活動費の増加を吸収し、営業利益は1,270百万円(6.4%増益) (当初予想比では、中国新会社設立に伴う費用増加から34百万円減少)

B/S

- 顧客(商品ユーザー)向けの研修センター建設に着手(上期)
- 退職給付債務相当額の年金資産確保(当初予想通り)

*「当初予想」は、2005年5月16日発表の予想値であります。(以下同様)

通期業績見通しの概要<主要指標比較>

単位:百万円、%

	2005/3期 通期実績 (対売上率)	2006/3期予想			前期対比 (増減率)
		上期実績 (対売上率)	下期予想 (対売上率)	通期予想 (対売上率)	
売上高	14,231	7,238	7,271	14,509	277 (2.0)
(国内売上高)	11,057 (77.7)	5,634 (77.8)	5,559 (76.5)	11,194 (77.1)	136 (1.2)
(海外売上高)	3,173 (22.3)	1,604 (22.2)	1,711 (23.5)	3,315 (22.9)	141 (4.5)
営業利益	1,194 (8.4)	713 (9.9)	557 (7.7)	1,270 (8.8)	76 (6.4)
経常利益	1,200 (8.4)	797 (11.0)	489 (6.7)	1,287 (8.9)	86 (7.2)
当期純利益	794 (5.6)	488 (6.7)	289 (4.0)	777 (5.4)	17 (2.2)
1株当たり 当期純利益	47.91円	30.73円	18.22円	48.96円	1.05円

(注) 2005/3期の1株当たり当期純利益は、
当期純利益から役員賞与額 38百万円を控除して算出しております。

製品分類別売上高

金額単位:百万円

()内は構成比率、増減率、単位%

	2005/3期	2006/3期予想			前期対比 (増減率)
	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	
人工歯類	2,800 (19.7)	1,343 (18.6)	1,479 (20.3)	2,823 (19.4)	23 (0.8)
研削材類	3,479 (24.4)	1,812 (25.0)	1,625 (22.4)	3,438 (23.7)	-40 (1.2)
金属類	469 (3.3)	232 (3.2)	234 (3.2)	467 (3.2)	-2 (0.6)
化工品類	2,673 (18.8)	1,365 (18.9)	1,385 (19.1)	2,750 (19.0)	77 (2.9)
セメント類他	1,384 (9.7)	721 (10.0)	768 (10.6)	1,490 (10.3)	106 (7.7)
機械器具類その他	3,425 (24.1)	1,762 (24.3)	1,776 (24.4)	3,538 (24.4)	113 (3.3)
合計	14,231 (100.0)	7,238 (100.0)	7,271 (100.0)	14,509 (100.0)	277 (2.0)

国内売上高

「当初予想」と同様の見通しであります。

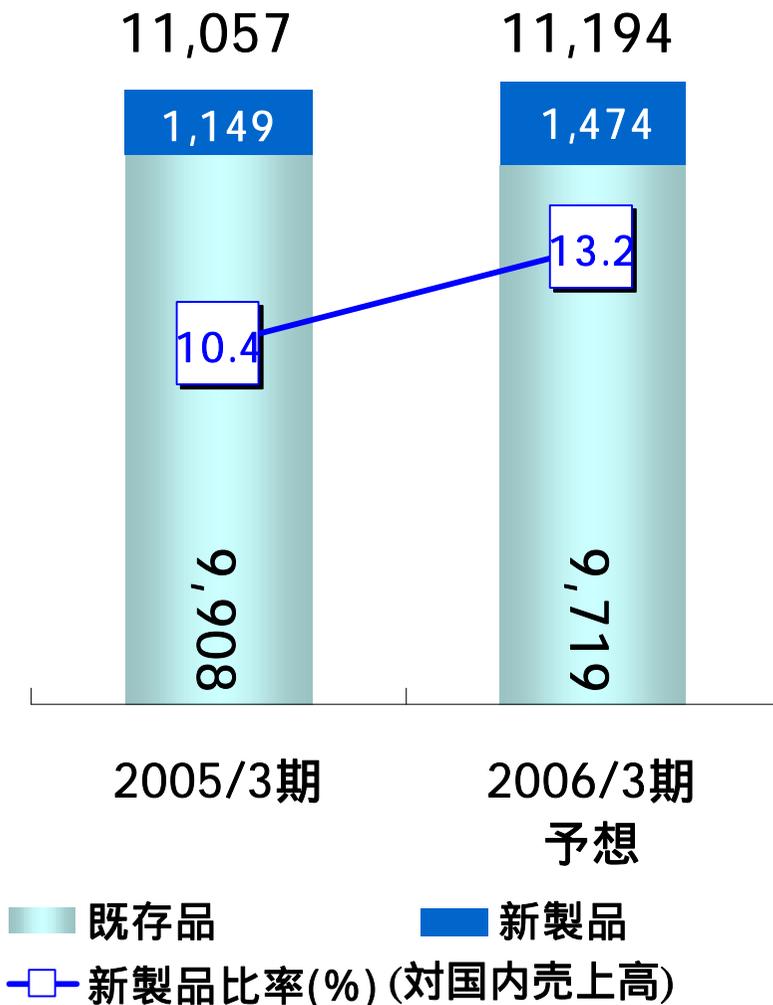
単位:百万円

□ 国内市場の環境認識及び基本方針

- 医療費3割負担の影響は和らぐものの業界全体の需要の伸びは期待薄
- 「既存品」は、弾力的・効率的な販売政策により現状を維持、これに自社開発新製品を上乗せ

□ 主要新製品

- 常温重合レジン「プロビナイス」
- 前臼歯対応歯冠用硬質レジン「セラマージュ」
- グラスアイオノマー系レジンセメント「ハイ-ボンド レジグラス」
- ホームホワイトニング材料「ハイライトシェードアップ」



* 「新製品」は、最近3年間の発売品であります。

海外売上高

「当初予想」と同様の見通しであります。

金額単位：百万円、()内は構成比率(%)

□ 概要

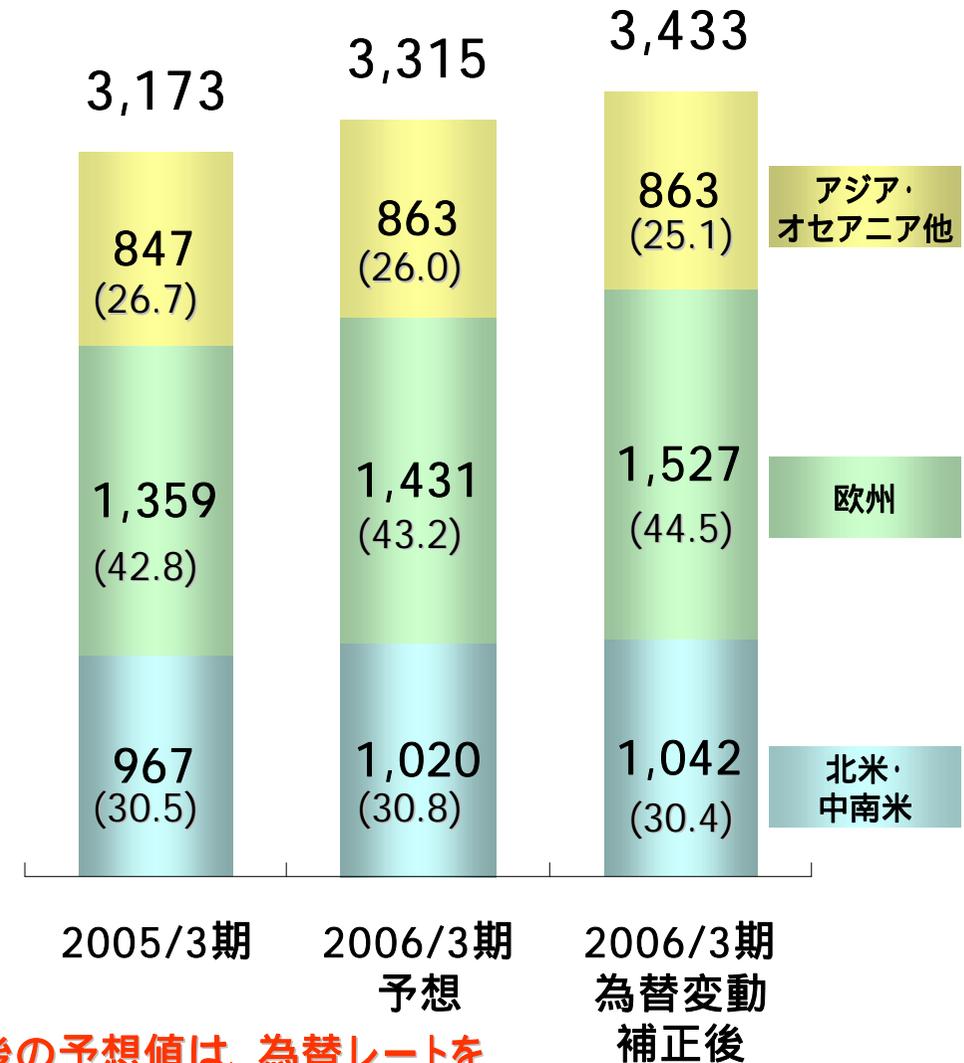
- 各地域とも堅調な推移を予想
- 国内発売新製品を世界順次展開
 - ・フロアブル コンポジット
「ビューティフィル フロー」
 - ・前臼歯対応歯冠用硬質レジン
「セラマージュ」など

□ 為替レート

- 米ドル 105円 前期 107.39円
(影響 - 21百万円)
- ユーロ 130円 前期 138.87円
(影響 - 96百万円)

□ 海外売上高比率

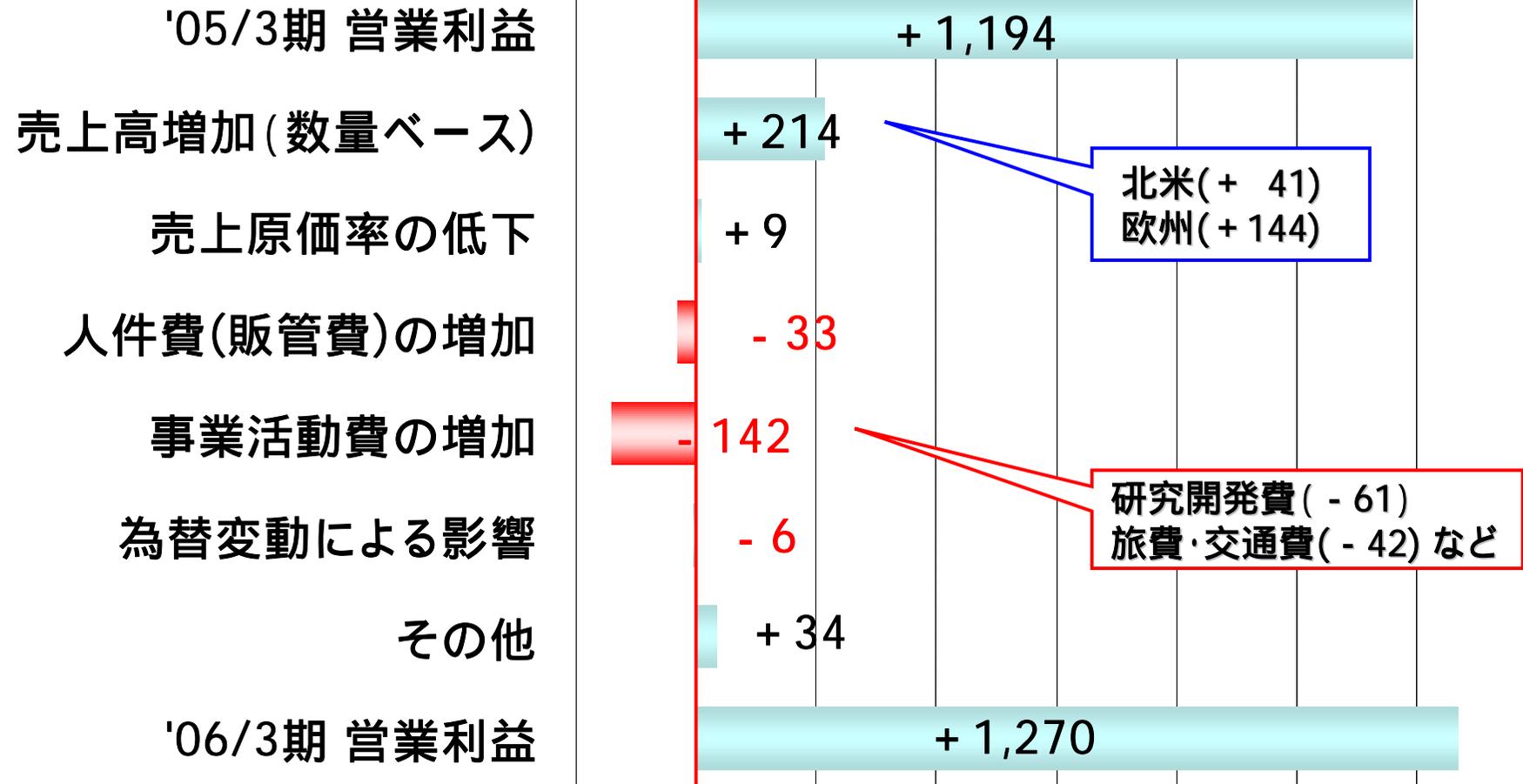
- 22.9%(前期 22.3%)
(為替変動補正後 23.5%)



* 為替変動補正後の予想値は、為替レートを2005/3期と同一とした場合の金額であります。

営業利益の変動要因

単位:百万円

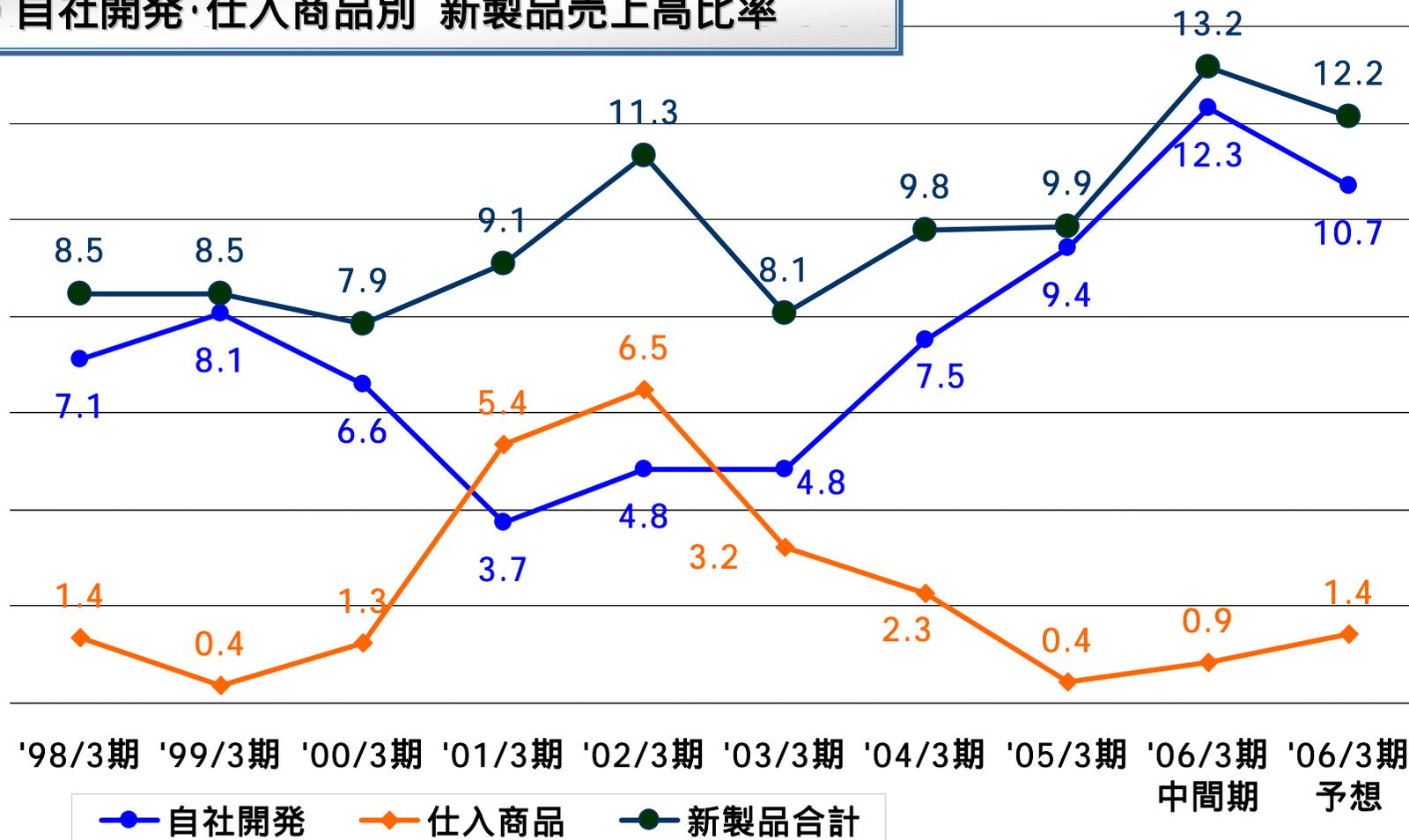


* 当初予想比では、中国新会社設立に伴う費用増加から34百万円減少

新製品売上高の推移

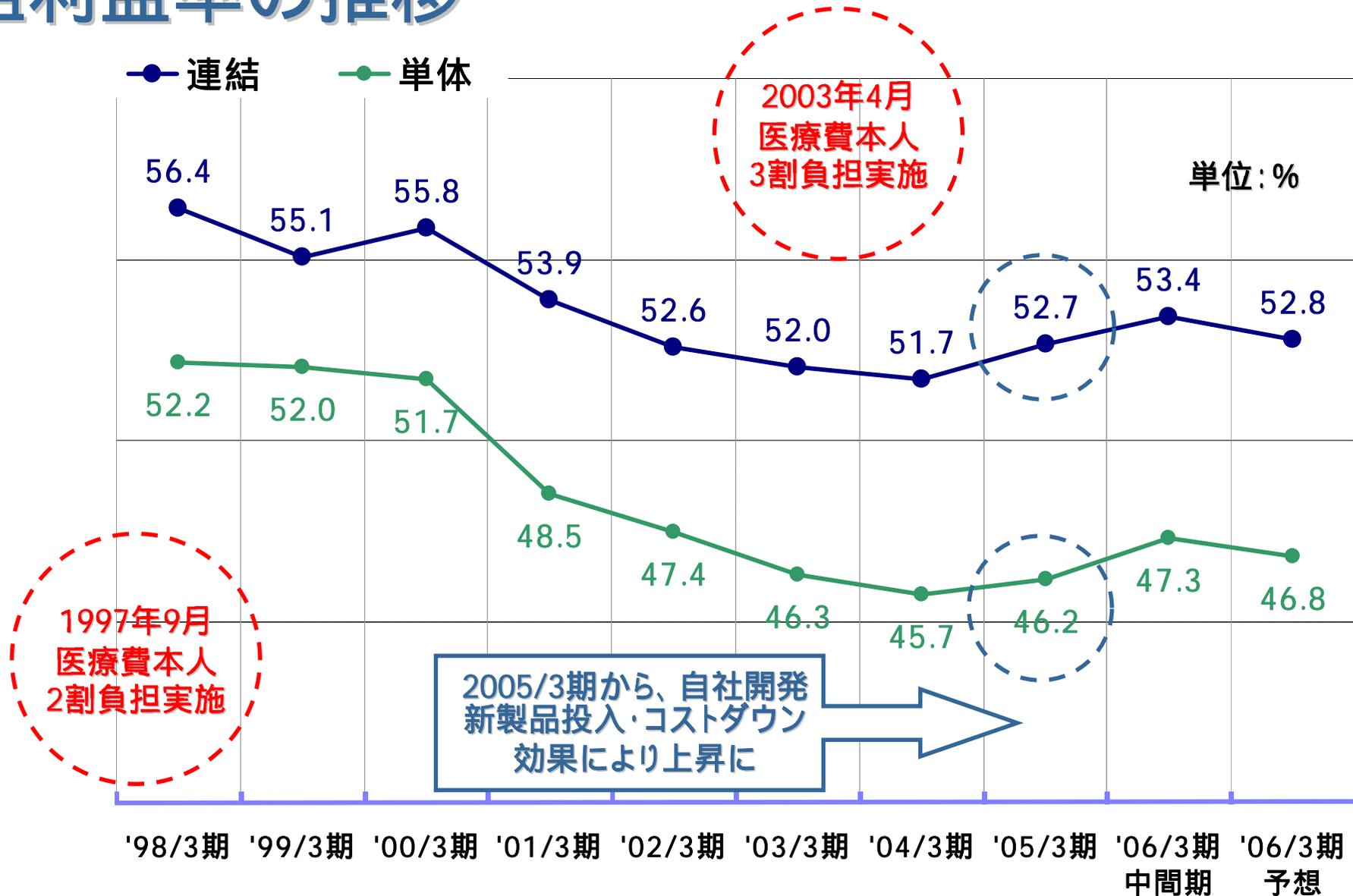
単位：%

自社開発・仕入商品別 新製品売上高比率

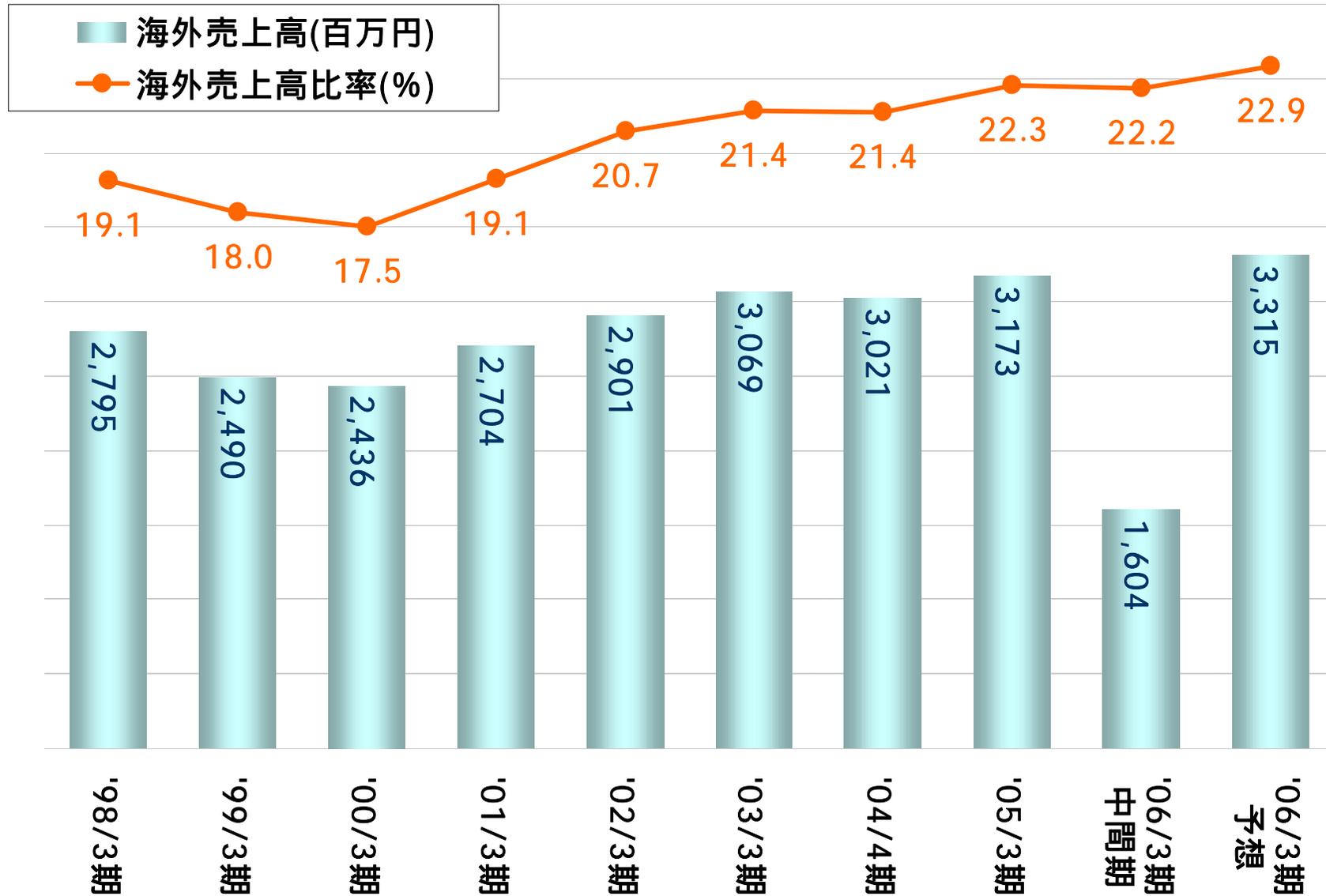


仕入商品の主なもの...J&J商品、レーザ装置、EMS商品

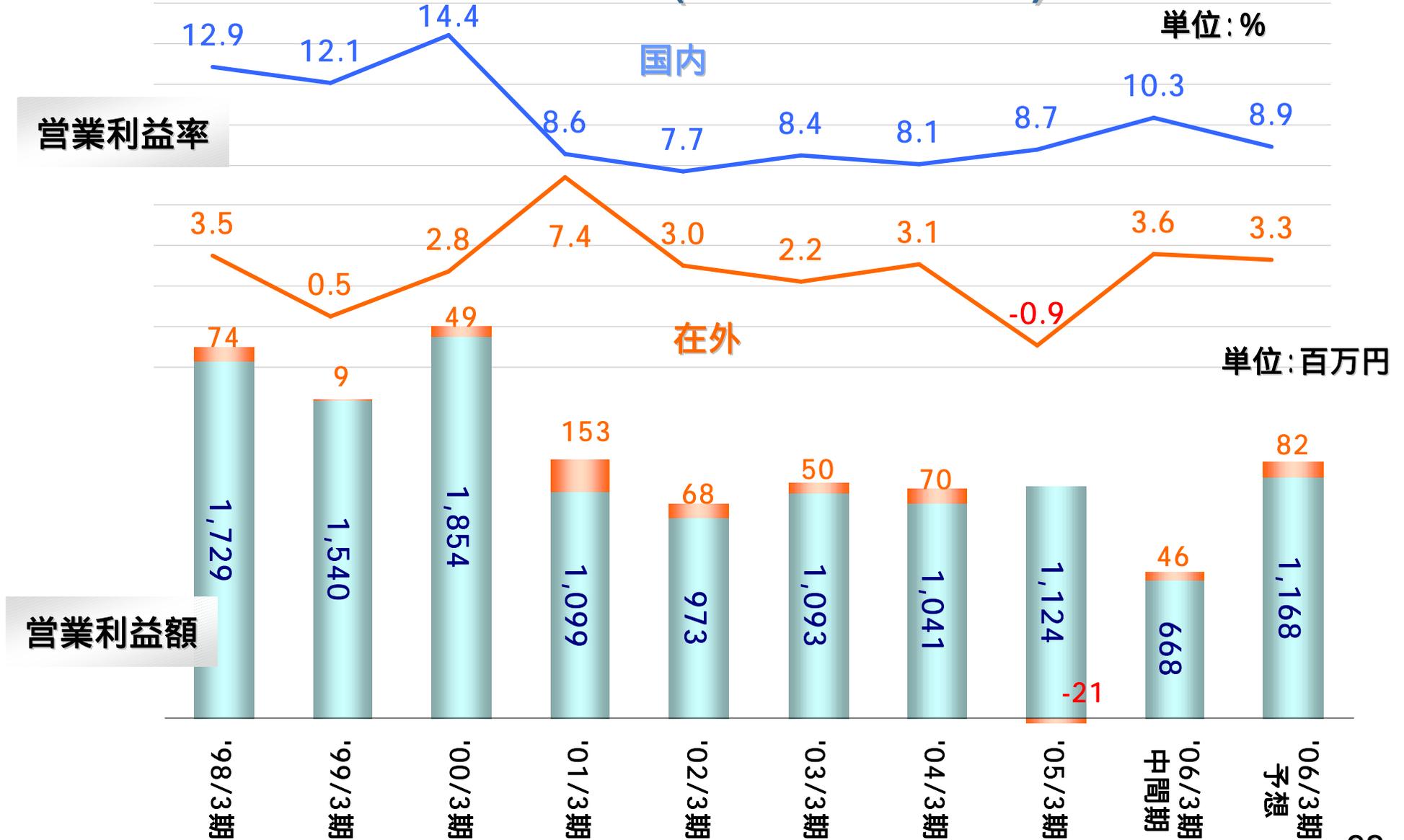
粗利益率の推移



海外売上高・海外売上高比率推移



国内・在外別営業利益(連結消去前)



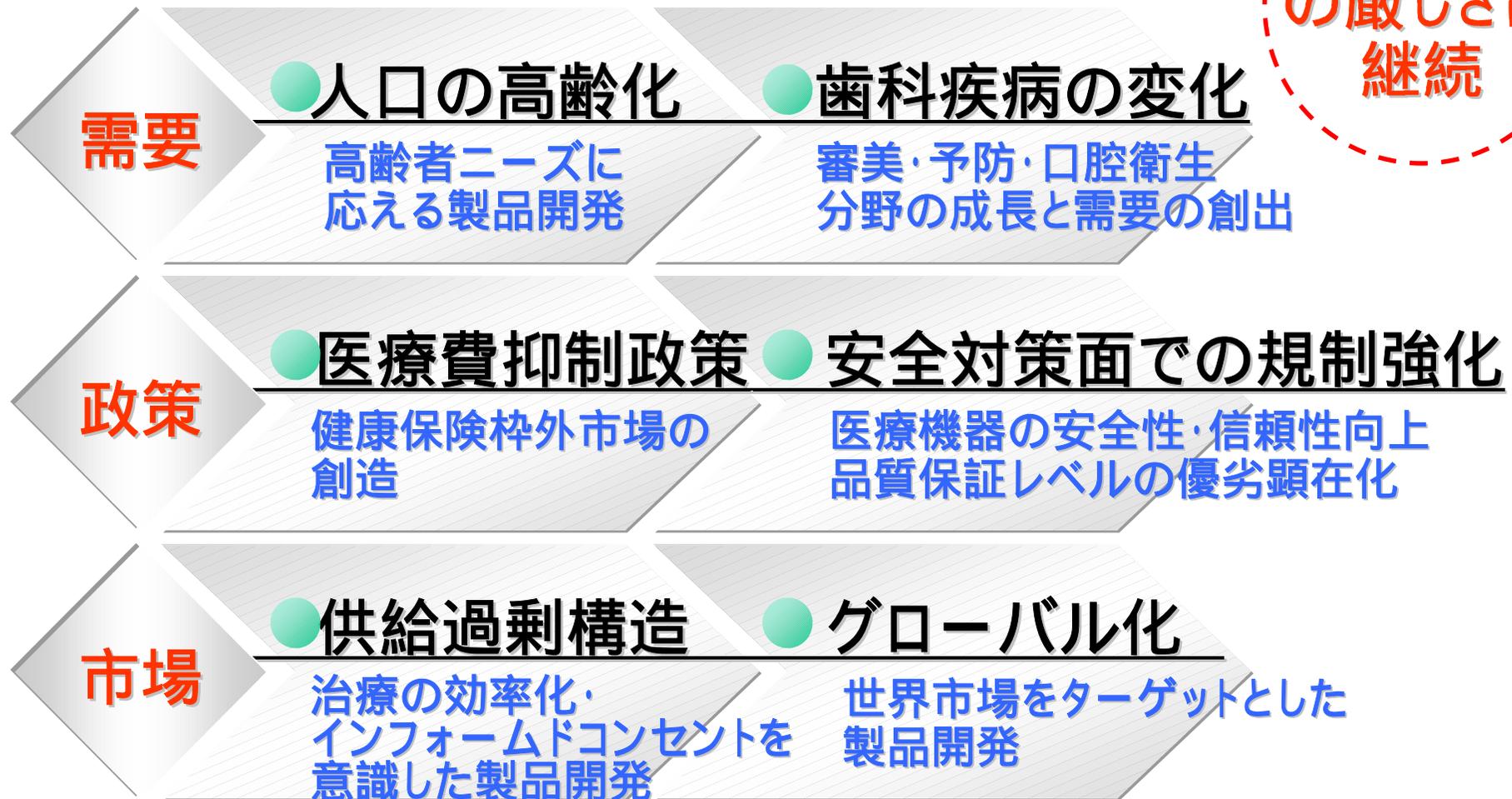
➡ 2006年3月期 中間業績の概要

➡ 2006年3月期 通期業績見通し

➡ 今後の事業環境及び中長期戦略

事業環境の認識と対応の基本的な考え

経営環境
の厳しさは
継続



経営の重点課題

強化すべき機能

- 品質競争力
- マーケティング力
- 価格競争力

全社目標

- 新製品・新技術による市場の創造とシェアアップ
- 海外事業の拡大

4つの数値目標

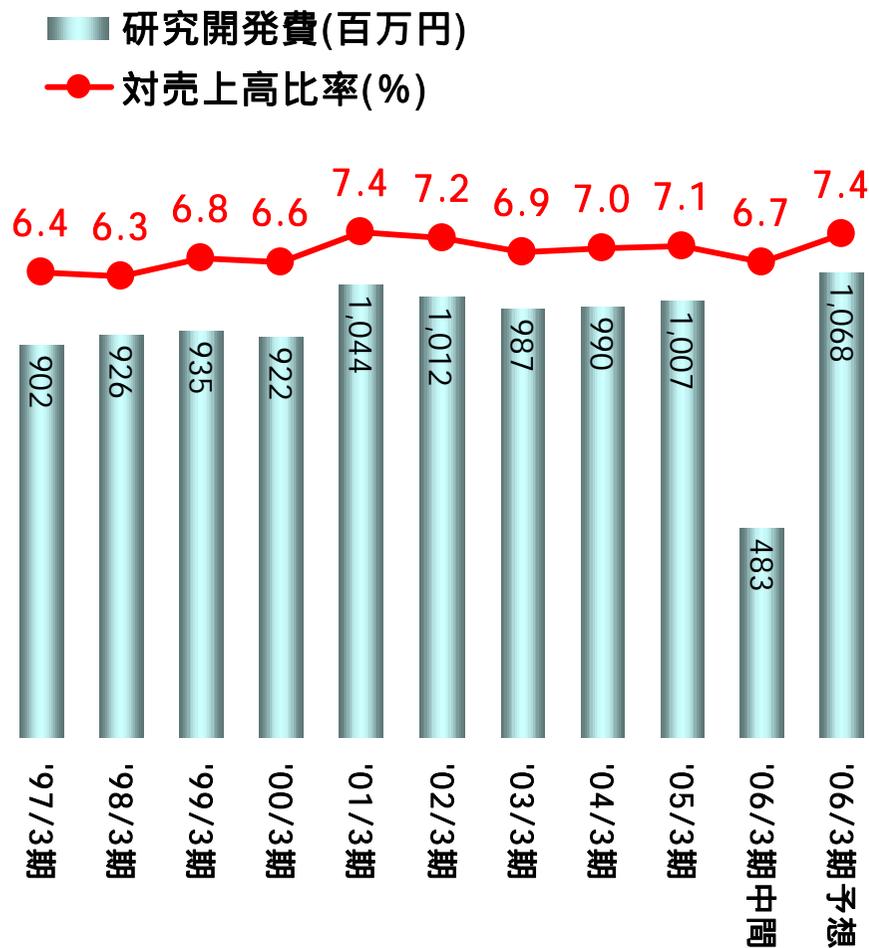
- 海外売上高 30%
- コストダウン 20%
- 新製品売上高 15%
- 国内市場でのシェアアップ

連結営業利益率10%への回復 長期的に15%を指向

具体的な取り組み

研究開発

研究開発費・対売上高比率推移



研究開発への積極投資は継続

具体的な取り組み 生産

生産技術の継承と継続的な向上

- 定年退職者増加に伴う技術の継承と省力化策

生産・物流の効率化と顧客サービスの向上

- 新生産システムによる生産・物流効率の向上
- 改正薬事法・トレーサビリティ体制の確立

コストダウン

- 現場単位のコストダウン・プロジェクト推進

品質競争力の強化

価格競争力の強化

コストダウン
20%実現

具体的な取り組み 国内営業

⇒ 既存分野におけるシェア拡大

- 人工歯
- 研削材
- 充填修復材料
- 歯冠用硬質レジン
- 合着・接着材料

⇒ 新規分野における市場創出

- 審美 (例) ホワイトニング・矯正
- 予防・口腔衛生 (例) PMTC

顧客指向の徹底

マーケティング力の強化

弾力的・効率的な販売政策

具体的な取り組み 海外事業



⇒ アメリカ

- 輸出市場開拓 ブラジル・メキシコ
- 器材評価機関への活動強化



⇒ ヨーロッパ

- 人工歯市場への参入
- 東欧市場の開拓



⇒ アジア

- 中国市場拡大に向けた取り組み
生産面：人工歯・研削材の輸出開始 生産品目の拡大
販売面：現地ディーラーからのスムーズな移管
- インド・ベトナム市場の開拓

マーケティング
機能強化

新製品投入
に向けた
戦略的活動

株式の流動性対策 単元株式数の引き下げ

- **変更の理由**
株価動向を勘案し、株式の流動性向上を目的に実施
- **変更内容**
1単元の株式数を1,000株から100株に引き下げ
- **効力発生日**
2006年2月1日(水)
- **ご参考 最近1年間における株価推移**
920円(2004.10.29) ~ 1,220円(2005.9.29)
- **これまでの流動性対策**
株式分割 1株:1.5株(2004年3月31日基準日)

本資料における予想は、現時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としています。
実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

株式会社 松 風

〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11番地

TEL 075-561-1112

FAX 075-561-1227

URL <http://www.shofu.co.jp>

E-MAIL ir@shofu.co.jp

お問合せ先 総合企画室

